

亡国・革命・新しい文明の創造

大田区
大谷和夫

やや物騒な題名をつけてしまったが、日本の現状は経済、政治共に未曾有の事態を迎えている。金融システム不安と財政の大赤字、アジア通貨崩壊と経済の失速、危機管理能力欠如の不安に加えて、4月から予定されている金融ビッグバンで、現在漂流中の日本丸は果たして難破・沈没を免れることができるであろうか？

既に53年前になるが、敗戦により大日本帝国は滅亡した。そして米軍に占領され、その保護のもとに新しい日本国が誕生した。長年の天皇主権から初めて国民主権に変わったのであるから、正に画期的な革命であった。しかし当時は東京をはじめ多くの都市は度重なる米軍の空襲で破壊され、家も食糧もなく、どん底の飢餓状態であり、まず最低限の衣食住の確保、ついで産業復興から始まる経済再建が急務であった。

敗戦直後、マッカーサーが乗り込んできて、非軍事化、民主化により日本を二度とアメリカに敵対できないように五大改革を指令した。即ち、男女同権と婦人の解放、労働者の団結と組織の助長、教育の自由主義化、戸籍諸制度の廃止、財閥解体と農地解放等であった。更に憲法の自由主義化を指示し、内閣案が気に入らず、結局総司令部が僅か一週間で戦争放棄・軍備完全撤廃の現在の日本憲法を作り上げてしまった。

しかし、今になって考えてみると、肝心の行政に対しては何ら改革せず、1940年体制のまま官主国家を温存してしまった。と同時に衣食住の改善に夢中で、日本人自身が文明論的な意味で歴史的使命を検討することを怠り、折角の革命も中途半端になってしまった。

その結果経済は奇跡の復興を遂げたものの、甘えの構造を引きずり、島国根性で伝統的国際音痴からは脱却できず、視野狭窄症のまま一國平和主義に埋没し、政官財民共にモラルは腐敗し、経済的危機にも後手の対症療法に終始し、建設的な未来ビジョンも見えてこない。これではとてもじゃないが将来に希望がもてず、いっそこんな国は早く潰して革命を起こし、新しい文明社会に作り直した方が余程ましじゃないかとすら思えてくる。

ところで、歴史には法則なんかないというのが事

門家の定説のようであるが、古今東西の世界の歴史を調べると、伊東俊太郎氏の「文明移転の法則」、村山節氏の「文明興亡の法則」や「東西文明周期的波動の法則」、深川保典氏の「集中と分散の運動法則」などがある。紙面の都合で詳しくは説明できないが、過去6千年位の人類の歴史を分析すると、社会や国家には必ず盛衰があり、その態様には一定のパターンがある。そして何れも21世紀が世界的にも又日本にとっても大きな転換期に当たっていることを指摘している。

人類は過去1万年に4回の革命を経験している。つまり農業革命、都市革命、精神革命、それに科学革命である。科学革命は産業革命につながり、物質文明は飛躍的に進歩した。その結果現在環境問題の深刻化と共に情報革命が進行中である。これらの社会的影響は想像以上に大きいと思われるので、当面はまず情報革命に対するパラダイム・シフトが必要である。

続いて中期的にはライフスタイルと社会システムの再構築が要請されている。短期及び中期的な戦略目標については大前氏をはじめ既に多くの提言が出されている。だが肝心なのはそれらの基盤となる長期的な戦略目標ではなからうか。

それは端的に言って人間の本質的な価値を実現する新たな文明の創造、つまり人間革命の実現であると思う。具体的には種々二極分化してきたものの調和・統合をはかることであろう。物質と精神、個と全体、先進と後進、経済発展と環境保護などの調和・統合であり、精神革命と科学革命、科学技術と人間的価値との統合を求める人間革命の実現である。

文明移転の法則からいえば、古くから東洋の精神文化の伝統を受け入れ、近代には西洋の科学技術を消化吸収した日本が、この新たな統合の課題を遂行するのに最も適した立場にいても言える。又過去専ら外国文明を輸入し、その恩恵に浴して来た日本にとって、絶好のお返しの時がきたとも見られる。そのためには日本人が意識を新たにして、つまり長年の島国根性や甘えの構造から脱却し、思い切り創造性を発揮して、究極の人間革命の実現に向けて積極的に努力することが求められているのではなからうか。

食事と健康

世田谷区 澤井正治

【はじめに】

日本は明治維新以来、西欧に追いつき、追い越せて、産業、社会すべて模倣を行いました。しかしながら、換骨奪胎で日本の精神風土は、かなり頑固に残っておりました。根底まで覆されたのは、先の大戦の敗戦後です。米国の占領政策は日本が再び軍事国家になることがないように、と徹底的に精神面か

ら教育し直すことを企図しました。そして、それは成功しているように思えます。自国を考える。自国に貢献する。自国と他国の関係を考察する、等々。

現代の若者には国家というものの意識が欠落してしまっているように思えます。「日本人には顔がない」として、世界中が訝るのに日本人は気付いていません。国家意識をなくすことが国際化だと、とんでも